

年頭のごあいさつ



徳芳 志木市議会 議長 河野

意努力してまいりました。

昨年は、迎える平成の年号の締めくくりとして、新たな志木市の魅力を発信させるスタートの年となりました。

まずは、2020年の市制施行50周年を迎えるにあたり、6月には市民40人と市職員9人で市制施行50周年記念事業検討委員会を発足し、6つの部会に分かれて、お祝いや記念事業などの企画や魅力あるアイデアで、市制施行50周年を迎えようと話し合いが始まりました。

また、11月には長年、志木市の広報大使として志木市をアピールしてくれている志木市文化スポーツ振興公社のキャラクターの「カパル」が、見事、ゆるキャラグランプリ優勝利、全国的に志木市をPRしてくれました。

さらには、かつて舟運で栄えた志木市の歴史をイメージした市民ボランティアの船頭さんによる春や秋のイベントでの新河岸川の和舟回遊事業「いろはの渡し」の運行、志木市のまちが、映画やテレビに取り上げられたフィルム・コミッション、志木駅東口のペDESTリアンデッキ

上にカパルが描かれたストリートアートが設置されるなど、さまざまな面で観光事業も盛んになりました。

こうした状況の中、志木市議会におきましては、市民の皆様の強い付託と期待に応えるべく、香川市政が掲げる「住んでみたい、ずっと住み続けたい」活気ある志木市のまちづくりをより良くする議論を深め、信頼される議会運営並びに議員活動を行ってまいります。

今後におきましても、市議会に対し、いっそうのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

新年にあたり、市議会を代表いたしまして、年頭のご挨拶を申し上げます。市民の皆様におかれましては、平素より、市議会に対しまして、深いご理解とあたたかいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私は、昨年3月に2度目の議長（26代）に就任し、24代議長時代の経験を活かし、市議会と執行部との調整役と監視役として、議員が市民の皆様にと託された声や意見を市議会や市政に反映できるように、鋭

